

島根大学 研究・学術情報機構 エスチュアリー研究センター

第 26 回新春恒例汽水域研究発表会 汽水域研究会第 7 回例会

合同研究発表会

目 程

2019 年 1 月 12 日 (土)

- 10 : 20-10 : 25 開会の挨拶 (島根大学 学術研究・地域連携担当理事／研究・学術情報機構長)
10 : 30-11 : 30 一般講演 : 常設セッション 「汽水域一般」
— 昼休憩 —
13 : 00-15 : 30 一般講演 : 常設セッション 「水圏生態研究」
15 : 45-17 : 00 一般講演 : 常設セッション 「流動解析」
19 : 00-21 : 00 懇親会

2019 年 1 月 13 日 (日)

- 10 : 00-10 : 15 一般講演 : 常設セッション 「環境変動解析」
10 : 15-12 : 00 一般講演 : スペシャルセッション 「完新世環境変遷」
12 : 00-12 : 05 汽水域研究会会長挨拶
— 昼休憩 —
13 : 20-17 : 00 特別国際セッション
「エスチュアリー的环境変化：東アジアにおけるエスチュアリーの発達と長期環境変動」
International Special Session on Estuary Development and Long-Term Environmental Changes in East Asia

会 場 島根大学 総合理工学部 1 号館 21 番教室

島根県松江市西川津町 1060

1 月 12 日(土)

10 : 20-10 : 25 開会の挨拶

秋重幸邦 (島根大学 学術研究・地域連携担当理事／研究・学術情報機構長)

一般講演 常設セッション 「汽水域一般」 (10 : 30-11 : 30)

10 : 30-10 : 45 中海・宍道湖干拓淡水化データベースの作成について

徳岡隆夫 (島根大名誉教授)

10 : 45-11 : 00 分光反射率データを用いた汽水域懸濁物質質量推定手法の検討

中山陽介 (島根大院総理)・下舞豊志 (島根大総理)

11 : 00-11 : 15 宍道湖・中海と島根半島周辺海域における分光反射特性の違い

坂本智彦 (島根大学総理)・下舞豊志 (島根大総理)

11 : 15-11 : 30 MODIS を用いた宍道湖・中海濁度分布推定システムと自動観測データの比較

小池直哉 (島根大院自然科学)・下舞豊志 (島根大総理)

— 昼休憩 (11 : 30-13 : 00) —

一般講演 常設セッション 「水圏生態研究」 (13 : 00-15 : 30)

13 : 00-13 : 15 宍道湖に繁茂する水草とシオグサ類の分布状況

原口展子 (島根大EsReC)・川上 豪 (NPO法人自然再生セ)・瀬戸浩二 (島根大EsReC)

13 : 15-13 : 30 計量魚群探知機を用いた岩手県山田湾におけるアカモク (*Sargassum horneri*) の分布特性の把握

南 憲史 (島根大EsReC)・喜多千穂海 (北大院環)・白川北斗・富安信・宮下和士 (北大フィールド科セ)

13 : 30-13 : 45 斐伊川水系汽水域におけるアカエイの水域利用特性

鈴木渚斗 (島根大院自然科学)・山口啓子 (島根大生資)

13 : 45-14 : 00 セルラーゼをもつカニ類が駆動するマングローブ域の食物連鎖

川井田 俊 (島根大EsReC)・南條楠土 (水産機構水大校)・大土直哉 (東大大気海洋研)・河野裕美 (東海大沖セ)・佐野光彦 (東大院農)

14 : 00-14 : 15 大橋川における長期モニタリングから明らかになったホトトギスガイの個体群動態

倉田健悟 (島根大生資)・平塚純一 ((株) 地域システム研究所)・川上 豪 (NPO法人自然再生セ)・桑原正樹 (宍道湖漁協)・飯塚洋平・桑原弘道 (NPO法人自然再生セ)

14 : 15-14 : 30 ホトトギスガイの個体サイズ及び水深による移動特性の変化

村上響太・倉田健悟 (島根大生資)

14 : 30-14 : 45 野外飼育実験による宍道湖・中海におけるヤマトシジミの生残率と成長

崎村浩亘 (島根大総理)・瀬戸浩二 (島根大EsReC)

14 : 45-15 : 00 シブノツナイ湖におけるベントス群集構造の変化

松田烈至・園田 武 (東京農業大生物産業)

15 : 00-15 : 15 日本海南部沿岸における熱帯性大型有孔虫 *Amphistegina* 属の分布調査

滝村寛之・林 広樹 (島根大総理)

15 : 15-15 : 30 技術士から博士への問題提起—流域におけるケイ酸の物質収支の必要性—

井上 祥一郎 (島根県技術士会, (株) 名邦テクノ, (株) エステム, (有) アーステクノ, (株) 日吉, (公財) 宍道湖・中海汽水湖研究所)

一般講演 常設セッション 「流動解析」 (15:45-17:00)

- 15:45-16:00 植物プランクトンによるヒドロキシルアミンの生成に関する研究
引野愛子 (島根大院総理)・加藤季晋 (島根県保環研)・管原庄吾 (島根大総理)・大谷修司 (島根大教育)・江川美千子 (島根大総理)・清家 泰 (島根大EsReC)
- 16:00-16:15 成層化したダム湖における降雨に起因したアオコ発生メカニズム
増木新吾・矢島啓 (島根大EsReC)・管原庄吾 (島根大総理)
- 16:15-16:30 沿岸海域における感潮河道の影響を考慮した懸濁物質シミュレーション
金 相暉 (島根大EsReC)・速水祐一 (佐賀大農学)
- 16:30-16:45 感潮河川における下水放流水が河川水質に与える影響
矢島 啓 (島根大EsReC)・眞鍋幸嗣 (鳥取大工学研究科)
- 16:45-17:00 北海道東部, コムケ湖における溶存無機炭素モデルの開発
中山恵介 (神戸大院工学研究科)・田多一史 (中電技術コンサル)・駒井克昭 (北見工業大工学)

1 月 13 日 (日)

一般講演 常設セッション 「環境変動解析」 (10:00-10:15)

- 10:00-10:15 平成30年7月豪雨(西日本豪雨)における宍道湖の水質環境の変化
倉橋和志 (島根大総理)・瀬戸浩二 (島根大 EsReC)

一般講演 スペシャルセッション

「完新世における汽水域及びその周辺地域の環境変遷史 2019」

コンビナー：北川淳子・瀬戸浩二

(10:15-12:00)

- 10:15-10:30 長崎県壱岐島芦辺港における完新世の古環境
佐々木聡史 (島根大院総理)・入月俊明 (島根大総理)・ト部厚志 (新潟大災害・復興科学研)・瀬戸浩二 (島根大 EsReC)・林 広樹・酒井哲弥 (島根大総理)
- 10:30-10:45 山口県阿武町におけるボーリングコア中の完新世シャジクモ化石
川原範子 (島根大院自然科学)・入月俊明 (島根大総理)・小室 隆 (山口大創成科学)・ト部厚志 (新潟大災害・復興科学研)・瀬戸浩二 (島根大 EsReC)
- 10:45-11:00 地中海における過去 1700 年間の夏季及び冬季の底層塩分変動
山田 桂 (信州大理学)・黒木健太郎 (信大理)・瀬戸浩二 (島根大 EsReC)・池原 実 (高知大コア)
- 11:00-11:15 福井県若狭地方の古代の製塩と気候
北川淳子 (福井県年縞博物館)・瀬戸浩二 (島根大 EsReC)・小島秀彰 (若狭三方縄文博)・篠塚良嗣 (立命館大 R-GIRO)・入澤汐奈 (島根大総理)・山田和芳 (ふじのくに地球環境史ミュージアム)・吉田丈人 (地球研東大)
- 11:15-11:30 静岡県浜名湖における過去 2000 年間の水塊構造の変遷
上村桂太郎 (島根大学総理)・瀬戸浩二・香月興太 (島根大 EsReC)・山田和芳 (ふじのくに地球環境史ミュージアム)
- 11:30-11:45 静岡県麻機遊水地で発見されたオニバス種子の年代について
山田和芳・栗山由佳子・竹内佐枝子・早川宗志 (ふじのくに地球環境史ミュージアム)
- 11:45-12:00 北海道東部, 藻琴湖における完新世の堆積物
瀬戸浩二・香月興太 (島根大 EsReC)・藤木利之 (岡山理大)・園田 武 (東京農大)・山田和芳

(ふじのくに地球環境史ミュージアム)

12 : 00-12 : 05 汽水域研究会会長挨拶
三瓶良和

— 昼休憩 (12:05-13:20) —

特別国際セッション

「エスチュアリー的环境変化：東アジアにおけるエスチュアリーの発達と長期環境変動」

International Special Session on Estuary Development and Long-Term Environmental Changes in East Asia

(13:20-17:00)

13 : 20-13 : 30 **Opening Address**

Yoshiki SAITO (Director of Estuary Research Center: *EsReC*)

13 : 30-14 : 00 **Critical transition and early warning signals in Lake Ecosystem** [Invited Speech]

Rong WANG (Nanjing Institute of Geography and Limnology, Chinese Academy of Science)

14 : 00-14 : 30 **Impacts of the Tsushima Warm Current to the estuarine/coastal environments in the Tsushima/Korea Strait with a view to foraminiferal faunas during the Holocene** [Invited Speech]

Hiroyuki TAKATA (Pusan National Univ.), Naohisa NISHIDA (Tokyo Gakugei Univ.), Seungwon SHIN (Pusan National Univ., Kangwon National Univ.), Ken IKEHARA (AIST), Kota KATSUKI (Shimane Univ.), Daekyo CHEONG (Kangwon National Univ.) and Boo-Keun KHIM (Pusan National Univ.)

14 : 30-14 : 50 **Grain size and organic elemental composition of the surficial sediments in the Chinese Lingding Bay, Pearl River mouth and implications for human perturbation**

Xiuquan YUAN, Zhanghua WANG (SKLEC, East China Normal Univ.)

14 : 50-15 : 10 **Topography and sediment characterizing tide-dominated large-river deltas**

Yoshiki SAITO, Marcello GUGLIOTTA (*EsReC*, Shimane Univ.)

15 : 10-15 : 20 Break

15 : 20-15 : 40 **Effects of short-term climate oscillation on East Asian lagoons**

Kota KATSUKI (*EsReC*, Shimane Univ.), Koji SETO (*EsReC*, Shimane Univ.), Takeshi SONODA (Faculty of bio-industry, Tokyo Univ. of Agriculture), Takuroh NOGUCHI (Faculty of Agriculture and Marine Science, Kochi Univ.) and Dong-Yoon YANG (KIGAM)

15 : 40-16 : 10 **Lithology, chronology, and hydrodynamic conditions of the Holocene delta plain in the Nakdong River estuary of the southeast Korea** [Invited Speech]

Boo-Keun KHIM (Department of Oceanography, Pusan National University, Korea)

16 : 10-16 : 40 **The progress in Chinese Palaeoecology** [Invited Speech]

Xiangdong YANG (Nanjing Institute of Geography and Limnology, Chinese Academy of Science)

16 : 40-17 : 00 **Significant contribution of reworked detrital sediments in the subaqueous Yangtze River Delta during the Holocene**

Ryuji TADA (Univ. of Tokyo and Yunnan Univ.), Keita SAITO (Univ. of Tokyo), Ke WANG (Univ. of Tokyo), Tomohisa IRINO (Hokkaido University), Masao UCHIDA (NIES), Saiko SUGISAKI (AIST), Hongbo ZHENG (Yunnan Univ.)